

都市再生整備計画 事後評価シート
開成山地区(第2期)

令和8年3月

福島県郡山市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福島県		市町村名	郡山市		地区名	開成山地区(第2期)			面積	18.5ha		
交付期間	令和4~6年度		事後評価実施時期	令和7年度		交付対象事業費	7,284百万円	国費率	50%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	(道路)市道荒井八山田線道路整備事業、(公園)開成山公園拡張整備事業、(公園)開成山公園運動施設等整備事業、(地域生活基盤施設 情報板)情報板等整備事業									
			提案事業		(事業活用調査)開成山公園運動施設整備基本コンセプト等策定事業								
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	-									
	新たに追加した事業		提案事業		-								
基幹事業			(地域生活基盤施設 人工地盤)ペDESTリアンデッキ整備事業			<ul style="list-style-type: none"> ・主要道路で分断されている総合体育館敷地と陸上競技場敷地をペDESTリアンデッキで接続することで、開成山公園へのアクセス整備による利便性向上。 ・また、開成山公園としての連続性・一体性を持たせることで公園としての魅力アップを図る。 ・交通渋滞の緩和や交通事故発生リスクの低減 			指標2「開成山公園運動施設周辺の歩行者等通行量(平日)」及び指標3「体育施設の満足度」に寄与				
交付期間の変更		当初	令和4~6年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	運動施設の利用者数	人/年	184,015	R2	250,000	R7		372,482 (R8年1月末時点)	○	あり なし	施設の改修を行い修繕及び機能向上を図ったことにより、大会や興行が多く開催され利用者が増加した。	-
	指標2	開成山公園運動施設周辺の歩行者等通行量(平日)	人/日	423	R2	500	R7		400	×	あり なし	○ 予め定めた測定日は気温が低かったこともあり、目標値を達成することができなかった。	令和8年度内
	指標3	体育施設の満足度	点	72.1	R3	72.6	R7		74.3	○	あり なし	施設及び敷地内の園路の整備・改修を行い機能向上を図ったことにより、体育施設を利用した人の満足度向上につながった。	-
指標4										あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	-											
その他の数値指標2	-												
4)定性的な効果発現状況	本事業で整備した施設では、各種競技の地域の大会だけでなく、県大会以上の上位大会や興行等が開催され、人々が集い交流し、賑わいが創出されている。また、園路やペDESTリアンデッキなどの施設周辺の外構を整備したことにより、子供たちや親子連れが体を動かす姿も見られ、回遊性が向上している。さらに、ペDESTリアンデッキやバスベイを設置したことにより周辺道路の混雑が緩和された。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	市民に対する満足度調査	都市再生整備計画に記載し、実施できた				○	今後も調査を継続し、施設運営への反映を図る。					
	官民連携による取組	住民説明会	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				○	予定なし					
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
持続的なまちづくり体制の構築	開成山地区連絡調整会	都市再生整備計画に記載し、実施できた				○	今後も定期的に開催し、開成山公園を含む地区の賑わいの相乗効果を図り、施設運営への反映を図る。						
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

様式2-2 地区の概要

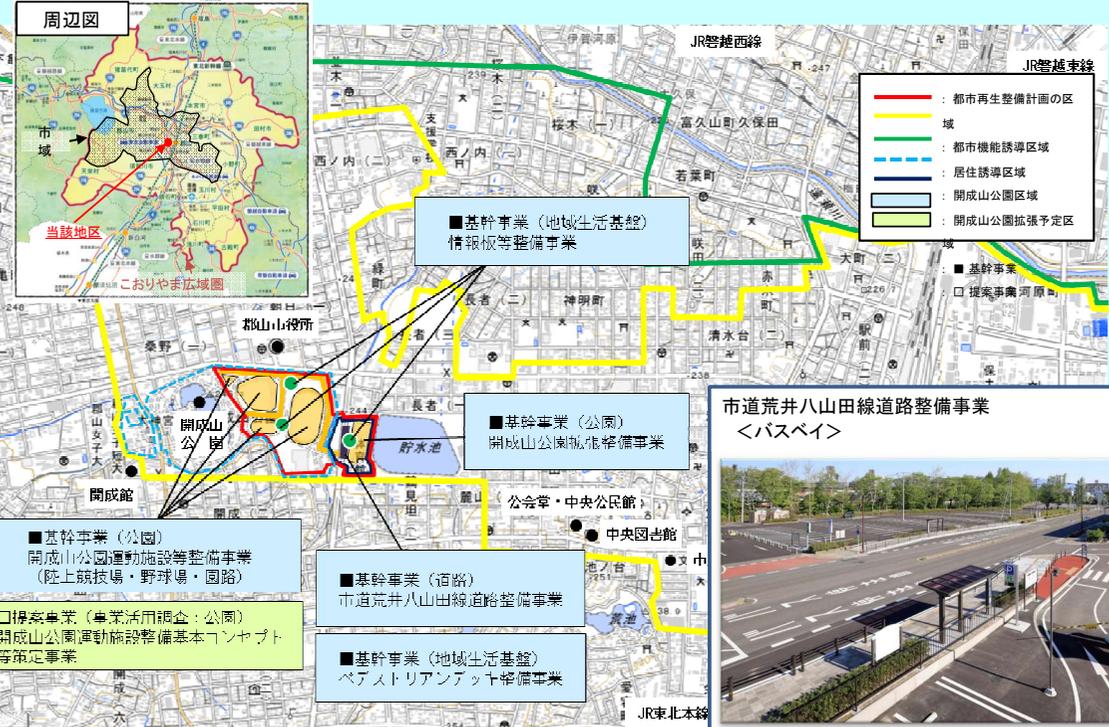
開成山地区(第2期)(福島県郡山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:本市のシンボルである開成山地区の既存運動施設等を活用したスポーツによるまちづくりを推進し、快適で健康的な都市空間の充実を図り「郡山型コンパクト&ネットワーク都市構造」の形成を目指す 目標1:スポーツ・レクリエーションの充実を図り、誰もがいつでも身近で気軽にスポーツに親しむことのできるスポーツの中心拠点施設整備による利用促進 目標2:回遊性を高め、人々が集い交流し、賑わいあふれるまちあるき空間の形成 目標3:プロスポーツ観戦などトップスポーツに触れる機会の創出による施設への愛着・誇り(シビックプライド)の醸成と周辺地区の賑わい創出	運動施設の利用者数	単位:人/年	184,015 R2	250,000 R7	372,482 R7
	開成山公園運動施設周辺の歩行者等通行量(平日)	単位:人/日	423 R2	500 R7	400 R7
	体育施設の満足度	単位:点	72.1 R3	72.6 R7	74.3 R7

開成山公園運動施設等整備事業
 <陸上競技場、野球場、外構>



周辺図



■ 基幹事業(地域生活基盤) 情報板等整備事業

■ 基幹事業(公園) 開成山公園運動施設等整備事業 (陸上競技場・野球場・園路)

□ 提案事業(事業活用調査:公園) 開成山公園運動施設整備基本コンセプト等策定事業

■ 基幹事業(公園) 開成山公園機能整備事業

■ 基幹事業(道路) 市道荒井八山田線道路整備事業

■ 基幹事業(地域生活基盤) ペDESTリアンデッキ整備事業

開成山公園拡張整備事業
 ペDESTリアンデッキ整備事業
 <郡山総合体育館、開成山ペDESTリアンデッキ>



情報板等整備事業
 <デジタルサイネージ>



市道荒井八山田線道路整備事業
 <バスベイ>



開成山公園拡張整備事業
 <郡山総合体育館>



まちの課題の変化

- ・機能向上のための整備を行ったことで、大規模大会やプロスポーツの公式戦等が開催可能となり、スポーツイベントを通じた交流機会やまちの賑わいが創出され、スポーツ中心拠点施設としての機能強化が図られた。
- ・PFI事業として実施したことで市の財政負担が平準化された。
- ・ペDESTリアンデッキの整備及び園路の改修等により、まち歩き空間や交通結節点としての機能が向上した。また、既存バス停留所をバスベイ型停留所へ改良したことにより、道路の混雑が緩和された。
- ・施設整備後、上位大会やプロスポーツの興行が多く開催され、市民がレベルの高いスポーツ競技を身近に体感できる機会が増えた。
- ・開成山公園Park-PFI事業と連携を図りながら、開成山公園と接続する園路の一部を拡張整備するとともに、開成山公園拡張整備事業として郡山総合体育館の機能向上を含めた改修整備を実施したことにより、郡山市民のシンボルである開成山公園としての一体性が生まれ、より魅力ある都市空間が形成され、シビックプライドの更なる醸成が図られた。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・整備した施設について、利用者が快適に利用できるよう維持管理を行うとともに、利用を促進するための事業展開及び情報発信を行う。
- ・開成山公園との連携を推進し、回遊性を高める。
- ・イベント開催時の周辺道路混雑のさらなる緩和に向けて、公共交通機関の利用や乗り合いでの来場を促すことや、イベント主催者と連携し混雑解消に向けた取り組みを実施する。
- ・プロスポーツの興行や大規模大会を開催し、市民がハイレベルなスポーツを体感し触れる機会を創出する。
- ・開成山公園と連携し、開成山公園全体の更なる魅力向上を図る。